

# 請願第5号

## 佐藤洋子議員の特別委員会参考人への誹謗中傷発言から

### 名誉回復を求める請願

#### 請願要旨

平成24年10月1日に開催された「町田市議会議員定数削減」に関する特別委員会で、賛成意見を陳述した参考人の発言に対し佐藤洋子議員は、11月5日の特別委員会に於いて事実無根の誹謗中傷発言を行った。

このようなことが、看過されれば、議会での参考人意見という市民の自由な発言が成りたちません。

また、これは思想信条、主義主張の違いを認め、意見を述べ合う民主主義の根幹を否定する行為であり町田市議会の良識を損なうものです。

このような行動により参考人の名誉は著しく毀損され平和が乱されました。

町田市議会として参考人の名誉を回復していただきたく請願いたします。

#### 《議事録より11月5日の特別委員会佐藤洋子議員の発言》

「一方で、賛成の立場の陳述者の方からは、究極は議員なんて要らないと。議会なんて今まで傍聴したこともなかったけれども、議会はもう本当に劣化していると。私どもの議会に対する感想なんでしょうけれども、非効率的な民主主義は要らないと民主主義を否定するような発言がありました」

「この前の参考人の方の究極はゼロでもいいというような、それは独裁政治だと思うんですね。1人の人の意思によって市政がすべて運用されている、議会は必要ないということですので、それは地方自治をしっかりと規定している憲法にも違反する発言ではないかと思しますので…」

#### 《発言の正誤内容》

##### ① 究極は議員なんて要らない

⇒ 議会・議員が必要だという論旨の発言の中で、実際には有り得ない理想の行政の例えとして言っているのです、正反対の趣旨になっている。

② 議会なんて今まで傍聴したこともなかった

⇒ 参考人は「年に数回ですけれども、議会を傍聴する事がありますけれども」と言っているので、事実と反している。

③ 議会が劣化している

⇒ テレビで国会などを見ている感想として「政治が劣化していると思わざるを得ない」と言っているが、議会が劣化していると断定した発言ではない。  
また「議会なんて今まで傍聴したことがなかった人」が、どうして（町田市）議会が劣化していると断定できるのでしょうか。

④ 非効率な民主主義は要らない

⇒ 「今、非効率な民主主義ということで（独裁政治に陥る）危険を担保しているわけですね」と民主主義を肯定する意見として言っているのに正反対の趣旨にしている。

⑤ 究極はゼロでもいい …それは独裁政治だ… 議会は必要ないということですので、それは地方自治をしっかりと規定している憲法にも違反する発言ではないか…

⇒ 究極はゼロでもいいとは、議会、議員が必要であり、その定数はどうなのかという論旨の中での有り得ないたとえ話であるのを曲解し正反対の趣旨にしている。憲法に違反する発言などしていない。

（10月特別委員会での参考人発言）